

令和3年度（2021年度） 商工会等事業変更概要書

四條畷市商工会

（単位：円）

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
変更	地域活性化事業	創業カフェ	新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ事業内容を変更。	▲ 606,000
変更	経営相談支援事業		新型コロナウイルス感染症の影響により支援件数が増加したため。	30,000
変更	専門相談支援事業		新型コロナウイルス感染症の影響により支援件数が増加したため。	576,000

※変更区分には、「追加」、「廃止」、「変更」、「未実施」のいずれかを選択してください。

2. 経費支出概要書（経費内訳）
 (1) 経営相談支援事業

四條畷市商工会
 (単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	280	7,000,000		280	7,000,000		0	
支援機関等へのつなぎ	10	100,000		10	100,000		0	
金融支援（紹介型）	10	300,000		10	300,000		0	
金融支援（経営指導型）	20	800,000		20	800,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	0	0		0	0		0	
資金繰り計画作成支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
記帳支援	20	500,000		20	500,000		0	
労務支援	10	200,000		10	200,000		0	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
販路開拓支援	80	1,600,000		80	1,600,000		0	
事業計画作成支援	20	1,000,000		20	1,000,000		0	
創業支援	10	200,000		10	200,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	25	500,000		25	500,000		0	
コスト削減計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
財務分析支援	60	600,000		63	630,000		30,000	
5S支援	50	500,000		50	500,000		0	
IT化支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	200	1,000,000		200	1,000,000		0	
結果報告	280	2,800,000		280	2,800,000		0	
小 計	—	20,500,000	20,500,000	—	20,530,000	20,530,000	30,000	30,000

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談	12	288,000		0	0		▲ 288,000	
税務相談	25	600,000		25	600,000		0	
経営相談	20	480,000		56	1,344,000		864,000	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
小 計	—	1,368,000	1,368,000	—	1,944,000	1,944,000	576,000	576,000

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	3,271,004	別紙事業調書【変更後】のとおり	2,665,004		▲ 606,000

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	906,300	別紙事業調書【変更後】のとおり	906,300		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		26,045,304		26,045,304		0

事業名		創業カフェ		事業番号	I	新規/継続	新規
想定する実施期間		R3	年度～	年度まで	I	年目	←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業概要	創業予定者、創業後5年未満の人に対して、ディスカッション形式で議論してもらい、お互いの知恵を経営の参考にしてもらう。また、コンサルタントにファシリテーターとしてリードしていただく。					
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現状、創業予定者は相談するところが少なく、情報量も得る機会がない。この課題を解決するため、管内の創業予定者を中心に、議論頂き、手法としてはKJ法や、ピクト図解等を活用し、創業へのイメージを固めてもらう。また、金融面での話し合いもしていただく。地域創業の促進と優秀なビジネスプランを持つ創業者に対する継続的な支援により、創業者を育成していくことが必要。大阪での創業を支援するため本事業を実施する。具体的には、①創業に関心を持つ方を対象に、創業に必要な情報を提供するカフェや講演会を開催し、創業への取り組みを後押しする②3回に分けてカフェを開催し、参加しやすさをアピールする③本商工会に寄せられた優秀なビジネスプランに対し、大阪府の大阪起業家グローイングアップ事業「ビジネスプランコンテスト」への推薦を前提にハンズオン支援によるブラッシュアップを行う。					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	創業予定者、及び創業5年以内の方。					
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	創業予定者、創業して間もない方は、他業種、他社との繋がりが少なく、より多くのネットワークを構築していただくためにも交流会実施に対するニーズは高い。また、市役所へ創業相談に行かれる方が、商工会へ誘導してくれる例も近年多い。					
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値						
	反省点						
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	創業を検討・準備している方、創業後5年以内の方を対象に、いま考えている創業のイメージを発表してもらい、課題を相互に意見交換してもらい、さらに創業者同志の名刺交換会、情報交換を行い、創業への意欲を高めていただく。「初期投資の小さい商売」についてはコンサルタントから紹介事例を発表頂き、金融面での施策も情報発信していく。意見交換を活発にし、ゼミのような雰囲気ワークショップを開催したい。					
	○ 人材交流型	<創業カフェ(3回開催)> 人材交流型 創業に向けて準備中の方や創業後まもない者、将来創業したいと考えているが事業運営のノウハウがない者などを対象に、創業の基礎知識の習得をはじめ、個々のビジネスプランの作成からブラッシュアップまでを支援するとともに、講師と受講生、受講生同士の交流を促進する。個別の相談に対しては、経営相談事業と連携して対応し、融資希望の案件は日本政策金融公庫守口支店、管内金融機関の府制度融資「開業サポート資金(地域支援ネットワーク型)」などの公的融資につなぐ。創業カフェは、募集期間を十分確保するとともに、各金融機関にも働きかけを強化するなど、集客増に努める。					
	販路開拓型	その後、大阪府グローイングアップ事業「ビジネスプランコンテスト」への推薦を前提とした個別支援も実施していく。					
	ハンズオン型	①創業支援機関ネットワーク会議に参加、②大阪起業家グローイングアップ事業への参画。 日時：2021年7月初旬～3回実施(7月、9月、11月) 場所：四條畷市民総合センター 会議室(なるべく大きな部屋をおさえ、ソーシャルディスタンスに努める) ファシリテーター：中小企業診断士1名 定員：各10名					
	独自提案型						
	事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果		
	商-13	起業家の育成、創業の促進		創業・経営革新			
	(a)府施策連携商13番 商業・サービス産業課と連携し、①創業支援機関ネットワーク会議への参加、②大阪府グローイングアップ事業「ビジネスプランコンテスト」への推薦、③募集にあたっての大阪府のメルマガの活用等で協力いただく。 (c)市町村連携 市役所産業振興課と連携、課長以下吏員の参加も依頼する。 (d)相談事業相乗効果 創業相談。日本政策金融公庫、市内の金融機関(枚方信用金庫)の協力を得て金融支援を実施する。10件を目標とする。						
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	10名×3回。開催案内の周知方法として、巡回、窓口での案内、会報、ホームページ、日本政策金融公庫守口支店、枚方信用金庫 忍ヶ丘支店の職員による巡回、チラシ配架等で周知する。				
	支援対象企業の変化 (代表的な指標)	様々な起業家との交流を行うことで、創業へのモチベーションを高め、創業に向けての取り組みの一助となる					
		指標	創業の準備にとりかかった人数			数値目標	10
	その他目標値	目標値の内容→					

算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入)	サービ単価		支援企業数		係数		標準事業費		
	40,400	円 ×	30	社 ×	1.00	=	1,212,000	円	
		円 ×		社 ×		=		円	
		円 ×		社 ×		=		円	
		円 ×		社 ×		=		円	
		円 ×		社 ×		=		円	
	合計		30	社	(小計)		1,212,000	円	
※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)									
							計	1,212,000	円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠(基準どおりの場合不要)									
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等					
	②受益者負担		円	負担金の積算					
	<input type="radio"/>	(a)府施策連携		<input type="radio"/>	(b)広域連携	<input type="radio"/>	(c)市町村連携	<input type="radio"/>	(d)相談事業相乗効果
	標準事業費			補助率			(①市町村等+②受益者負担)		
	1,212,000	円	×	1.00	=	1,212,000	円	(円)	
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはリンクで説明する 代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割(配分の考え方)			
		四條畷市商工会		1,212,000 円					
				円					
				円					
				円					

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		創業カフェ		事業番号	I	新規/継続	新規
想定する実施期間		R3	年度～	年度まで	I	年目	←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業概要	創業予定者、創業後5年未満の人に対して、ディスカッション形式で議論してもらい、お互いの知恵を経営の参考にしてもらう。また、コンサルタントにファシリテーターとしてリードしていただく。					
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現状、創業予定者は相談するところが少なく、情報量も得る機会がない。この課題を解決するため、管内の創業予定者を中心に、議論頂き、手法としてはKJ法や、ピクト図解等を活用し、創業へのイメージを固めてもらう。また、金融面での話し合いもしていただく。地域創業の促進と優秀なビジネスプランを持つ創業者に対する継続的な支援により、創業者を育成していくことが必要。大阪での創業を支援するため本事業を実施する。具体的には、①創業に関心を持つ方を対象に、創業に必要な情報を提供するカフェや講演会を開催し、創業への取り組みを後押しする②3回に分けてカフェを開催し、参加しやすさをアピールする③本商工会に寄せられた優秀なビジネスプランに対し、大阪府の大阪起業家グローイングアップ事業「ビジネスプランコンテスト」への推薦を前提にハンズオン支援によるブラッシュアップを行う。					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	創業予定者、及び創業5年以内の方。					
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	創業予定者、創業して間もない方は、他業種、他社との繋がりが少なく、より多くのネットワークを構築していただくためにも交流会実施に対するニーズは高い。また、市役所へ創業相談に行かれる方が、商工会へ誘導してくれる例も近年多い。					
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値						
	反省点						
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	<input checked="" type="radio"/> 人材育成型	創業を検討・準備している方、創業後5年以内の方を対象に、いま考えている創業のイメージを発表してもらい、課題を相互に意見交換してもらい、さらに創業者同志の名刺交換会、情報交換を行い、創業への意欲を高めていただく。「初期投資の小さい商売」についてはコンサルタントから紹介事例を発表頂き、金融面での施策も情報発信していく。意見交換を活発にし、ゼミのような雰囲気ワークショップを開催したい。					
	人材交流型	<創業カフェ(3回開催)> 人材育成型 創業に向けて準備中の方や創業後まもない者、将来創業したいと考えているが事業運営のノウハウがない者などを対象に、創業の基礎知識の習得をはじめ、個々のビジネスプランの作成からブラッシュアップまでを支援するとともに、講師と受講生、受講生同士の交流を促進する。個別の相談に対しては、経営相談事業と連携して対応し、融資希望の案件は日本政策金融公庫守口支店、管内金融機関の府制度融資「開業サポート資金(地域支援ネットワーク型)」などの公的融資につなぐ。創業カフェは、募集期間を十分確保するとともに、各金融機関にも働きかけを強化するなど、集客増に努める。					
	販路開拓型	その後、大阪府グローイングアップ事業「ビジネスプランコンテスト」への推薦を前提とした個別支援も実施していく。					
	ハンズオン型	①創業支援機関ネットワーク会議に参加、②大阪起業家グローイングアップ事業への参画。 日時：2021年7月初旬～3回実施(7月、9月、11月) 場所：四條畷市市民総合センター 会議室(なるべく大きな部屋をおさえ、ソーシャルディスタンスに努める) ファシリテーター：中小企業診断士1名 定員：各10名 <u>オンライン開催となったため、人材交流型から人材育成型に変更。</u>					
	独自提案型						
	事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果		
	商-13	起業家の育成、創業の促進		創業・経営革新			
	(a)府施策連携商13番 商業・サービス産業課と連携し、①創業支援機関ネットワーク会議への参加、②大阪府グローイングアップ事業「ビジネスプランコンテスト」への推薦、③募集にあたっての大阪府のメルマガの活用等で協力いただく。 (c)市町村連携 市役所産業振興課と連携、課長以下吏員の参加も依頼する。 (d)相談事業相乗効果 創業相談。日本政策金融公庫、市内の金融機関(枚方信用金庫)の協力を得て金融支援を実施する。10件を目標とする。						
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	10名×3回。開催案内の周知方法として、巡回、窓口での案内、会報、ホームページ、日本政策金融公庫守口支店、枚方信用金庫 忍ヶ丘支店の職員による巡回、チラシ配架等で周知する。				
	支援対象企業の変化 (代表的な指標)	様々な起業家との交流を行うことで、創業へのモチベーションを高め、創業に向けての取り組みの一助となる					
		指標	創業の準備にとりかかった人数			数値目標	10
	その他目標値	目標値の内容→					

算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費		
	20,200	円 ×	30	社 ×	1.00	=	606,000	円	
		円 ×		社 ×		=		円	
		円 ×		社 ×		=		円	
		円 ×		社 ×		=		円	
		円 ×		社 ×		=		円	
	合計		30	社	(小計)		606,000	円	
※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)								円	
							計	606,000	円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠(基準どおりの場合不要)									
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等					
	②受益者負担		円	負担金の積算					
	<input type="radio"/>	(a)府施策連携		<input type="radio"/>	(b)広域連携	<input type="radio"/>	(c)市町村連携	<input type="radio"/>	(d)相談事業相乗効果
	標準事業費			補助率			(①市町村等+②受益者負担)		
	606,000	円	×	1.00	=	606,000	円	(円)	
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する 代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割(配分の考え方)			
		四條畷市商工会		606,000 円					
				円					
				円					
				円					

【備考】

新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ事業内容を変更。

※別添で補足する内容があれば添付してください。